

英語科学習指導案

日 時：平成30年11月30日（金）5校時
学 級：3年1組・2組 66名
場 所：図書室（2階）
指導者：教諭 平松 雄一（T1）
教諭 古瀬 史子（T2）
ALT Charlotte Akin

1 単元名 Lesson6 Use write 人物を紹介する記事を書こう（「NEW CROWN」 p78～79）

2 単元観

○プロジェクト観

この単元の構成は通常の授業の流れとは異なりALTと一緒に計5時間の独自プロジェクトで行っている。最終的な目標は、友達の英語の発表について、英語で意見交換を行う話し合い活動に定めている。その手立てとして、既習の英語表現を用いて歴史上の人物についてポスターセッション形式で発表させ、それぞれの発表の後に、質疑応答を行わせる。この最終的な活動を行うまでの調べ学習や原稿づくり、発表の練習、各クラスでのポスターセッションなど、一連の活動を通してのスマールステップアップの積み重ねによって本単元目標の達成を目指している。

また、プロジェクト授業では教師の発言や生徒の発表は全てオールイングリッシュで進めることで、生徒たちに英語を聞き取り、英語を用いて自己表現ができたという達成感を持たせることで英語への自信をつけさせている。

このプロジェクトでは、学習指導要領の英語の目標の五つの領域である、聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの全ての領域において、資質・能力を一体的に育成させることができる。特に「(4)話すこと [発表] ウ社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。」と「(5)書くことウ社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。」に迫ることができるプロジェクトである。

○生徒観

本学年の生徒は明るく男女の仲も良く学習や学校行事に意欲的に取り組む生徒が多い。低学力の生徒が数名いるが、自ら他の生徒に分からない部分を尋ねて教えてもらったり、分からなくて困っていると、他の生徒が率先してアドバイスをしたりする姿が見られる。英語の授業においても積極的に英語を使ってコミュニケーションを図ろうとし、学力差に関係なく、協力し合いながら活動することができる。一斉指導の際も、教師の発問に対する反応が良く、教師と生徒が協力し合いながら授業を進めようとする姿勢が見られる。

事前に行った英語学習に対するアンケートの結果は下の表のようになった。（単位：人）

	あてはまる	どちらかと言えばあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
英語は好きである	13	22	17	2
英語の授業は楽しい	24	27	8	0
将来英語は役に立つと思う	30	25	1	0
英語で何を身に着きたいか (上位4位まで)	話すこと (会話) 46	話すこと (発表) 6	書くこと 4	読むこと 2
英語で苦手なことは何か (上位4位まで)	話すこと (会話) 20	書くこと 14	話すこと (発表) 13	聞くこと 8

結果から分かるように、英語を苦手と思っている生徒も多くが英語の授業は楽しいと感じている。ま

た、英語は将来役に立つと考えている生徒が大半であり、英語を学ばなければいけないという意識は持っている。また、英語学習で身に着けたいことも、苦手なことも会話であり、即興のやり取りができるようになりたいが、それを苦手に行っているということも分かる。

○指導観

生徒が無理なく英語でのスピーチやコミュニケーション活動に対して意欲を持てるように、次のような段階を踏ませて取り組む。

最初にALTによる歴史上の人物についてのプレゼンテーションを行い、生徒にこれから行うプロジェクトへの興味関心を引き出す。二段階目で、歴史上の尊敬する人物について、インターネットを利用して調べ学習を行わせる。三段階目に、大まかなスピーチ内容の枠組みを掴ませた上で、ポスター作成のための、見出しと内容を考えさせる。四段階目に、ポスターの内容が決まった後、更に詳しい内容を伝えるためのスピーチの原稿を考えさせる。最後に十分な練習を行った上でそれぞれ、歴史上の人物について、その人物が行ったことと、自分がどのような影響を受けたかを発表し、質疑応答を行わせる。質疑応答時は、普通の授業の帯活動の一つである、ペアによる2分間の条件付き自由会話で身につけた表現を用いて行うように指導する。

本校の研究主題である「互いを認め合い尊重し合う生徒の育成」へのアプローチとしては、調べ学習、ポスターの内容決め、スピーチ原稿作りなど、プロジェクト全体の活動を通して、常に友達と協力しながら行わせる。その上で、プロジェクトの最後のポスターセッションでは、グループで話し合わせて効果的な発表方法を考えさせる。また、質疑応答の場面では、発表する側、聞いて質問する側がお互いの立場を理解して思いやりのある発言をする英語活動を行わせる。これら一連の話し合い活動を通して、互いの良い面とできていない面を認め合う心を育てることで本校研究主題に迫らせる。

3 単元の目標

- ALTの英語のスピーチを聞いて、内容を理解する。(理解)
- 自分の尊敬する歴史上の人物についての情報を集める。(関心・意欲)
- 自分の尊敬する歴史上の人物についてのポスターと発表原稿を英語で書く。(言語・表現)
- 自分の尊敬する歴史上の人物について英語で発表する。(表現)
- 友達の英語の発表を聞いて、英語で質問をする。また、質問されたことに答える。(理解・表現)

4 単元の指導計画(全5時間)

- (1) 歴史上の人物の情報を集める。
- (2) 歴史上の人物のポスターを作成する。
- (3) スピーチを考えて、練習する。
- (4) ポスターセッションを行い、質問、意見、感想を言おう。①
- (5) ポスターセッションを行い、質問、意見、感想を言おう。②・・・本時

5 本時の学習

(1) 単元名：ポスターセッションを行い、質問、意見、感想を言おう

(2) 本時の目標とその評価方法

目 標	評価方法
歴史上の人物について発表し、質問に答える。(理解・表現)	観察・ワークシート
友達の発表を聞いて質問したり意見や感想を伝えたりする。(理解・表現)	観察・ワークシート
積極的に英語でコミュニケーションをする。(関心意欲)	観察・ワークシート

(3) 授業の視点

学習指導要領に書かれている5領域を育成するように授業を組み立てている。それぞれの領域での授業の視点は以下の通りである。

【聞くこと】

- どのような点に注意して発表を聞くのか、項目を明確にしたことで、聞くことに集中しやすくなったか。
- 難解な単語をカードにして見せながら発表させることで、内容理解がしやすくなったか。

【読むこと】

- ポスターを読んで、内容を理解し、ワークシートに要約を記入させることで、読み取る力が高まったか。

【話すこと [やり取り]】

- 質疑応答を行った者は、シールをワークシートに貼って成果を視覚化させることで、英語で会話することへの意欲を高めることができたか。

【話すこと [発表]】

- グループで発表させることで、自信をもって発表することができたか。
- 発表で良かった項目にシールを貼らせることで評価を視覚化することで、発表者のモチベーションアップにつながったか。

【書くこと】

- 見出しを付けてポスターを書かせることで、フォーカスがはっきりとなり、伝えたいことがはっきりと分かる文章になったか。
- ポスターに書かれていないことを、伝えるように指導したことにより、内容の濃い原稿を書くことができたか。

(4) 学習過程

過程	学習活動	指導上の留意点	評価方法と観点
導入 5分	1. 2分間 Talkを行う。 Who do you respect in historical people? 2. 自己評価表を記入する。	○ T1, T2, ALT 英語で話す雰囲気をつくる。 ○ ALT ペアができない生徒と一緒にいる。 ○ T1, T2 活動が不十分なペアにアドバイスをする。 ○ T1 本時の目標と流れを確認させる。 ○ T2, ALT 自己評価表の記入にまでまっている生徒を支援する。	観察 (関心意欲)
展開 35分	3. ポスターセッションをする ○前半(4分間×3回) 1組の生徒が発表者(presenter※以降P)、2組の生徒が聴衆(audience※以降A)となって、ポスターセッションを行う。 ○後半(4分間×3回) 2組の生徒がP、1組の生徒がAとなって、ポスターセッションを行う。 ポスターセッションの流れ ・Aは自分が聞きたいポスターの場所に個々で分かれてPの発表を聞く。 ・Aは発表を聞いた後、質問をする。 ・Pは質問に答え、質問をしたAにシールを渡す。 ・Aは発表を聞いたポスターにシールを貼る。 ※上記を前半3回、後半3回の計6回行う。	○ T1, T2, ALT 各ブースに分かれて行くことができない生徒に声をかけ、どこかのブースに入るように声かけを行う。 ○ T1 各ブースの準備が整ったのを確認後、ポスターセッションを開始させる。 ○ T1, T2, ALT それぞれ分かれて、ブースに着き、活動を支援する。また、終了後は称賛の言葉をかけ、次へのモチベーションを高める。 ○ T1, T2, ALT 質疑応答で答えに詰まった生徒にアドバイスを行う。 ○ T1, T2, ALT シールを渡すことを忘れないように指示する。 ○ T1 時間が来たら、次のブースに移動するように指示をする。 ○ T1 前半のポスターセッションが終了したら、後半のグループと交代するように指示する。	ポスターワークシート 観察 (関心意欲・理解・表現)
まとめ 10分	7. ワークシートに自分の感想を書く。 8. 自己評価表を記入する。	○ T1 ワークシートに今日の活動の感想を書くように指示する。 ○ T1, T2, ALT 書けない生徒を支援する。 ○ T1 本時の学習内容を振り返らせる。	ワークシート (関心意欲・理解) 自己評価表 (関心意欲)

(5) 評価

- ① 歴史上の人物について発表し、質問に答えることができたか。(理解・表現)
- ② 友達の発表を聞いて質問したり意見や感想を伝えたりしたか。(理解・表現)
- ③ 積極的に英語でコミュニケーションをしようとしたか。(関心意欲)

	Bと評価される生徒	Cの生徒への手立て
①	<ul style="list-style-type: none">・ 原稿を時々見ながらでも、適正なスピードと声量でアイコンタクトを取りながら、スピーチできる。・ 質問した内容に、準備したメモなどを見ながら、答えることができる。	<ul style="list-style-type: none">・ 原稿を見ながらでもいいので、発表させる。・ 用意したメモを見ながらでもいいので、質問をするように促す。
②	<ul style="list-style-type: none">・ 準備したメモなどを見ながらでも、質問したり意見や感想を伝えたりできる。	<ul style="list-style-type: none">・ 答えられないときは、黙ってしまうのではなく、謝って、分からないことを英語で言うように促す。
③	<ul style="list-style-type: none">・ 自らの意思で聞きたいです場所を選んで、発表を聞くことができる。	<ul style="list-style-type: none">・ どの場所も選ばずに困っているときは、どこかの発表の場所に誘導する。

(6) 板書計画

目標：ポスターセッションを行い、質問、意見、感想を言おう。②	
2 minutes Talk Grammar Poster session 1 Poster session 2 Worksheet	Topic： Who do you respect in historical people?

Class 3— No. _____ Name _____ Date: _____

No.	Names	Evaluation					
		Content	Volume	Attitude	Materials	Emotion	Comments
1							
2							
3							

My thought (Japanese)

YOU
CAN
TRY



My thought (English)
